

# 痛風を併発する透析患者に対する フェブキソスタットの投与経験

大山恵子、大山博司、諸見里仁、久住真佐子



つばさクリニック

藤森 新

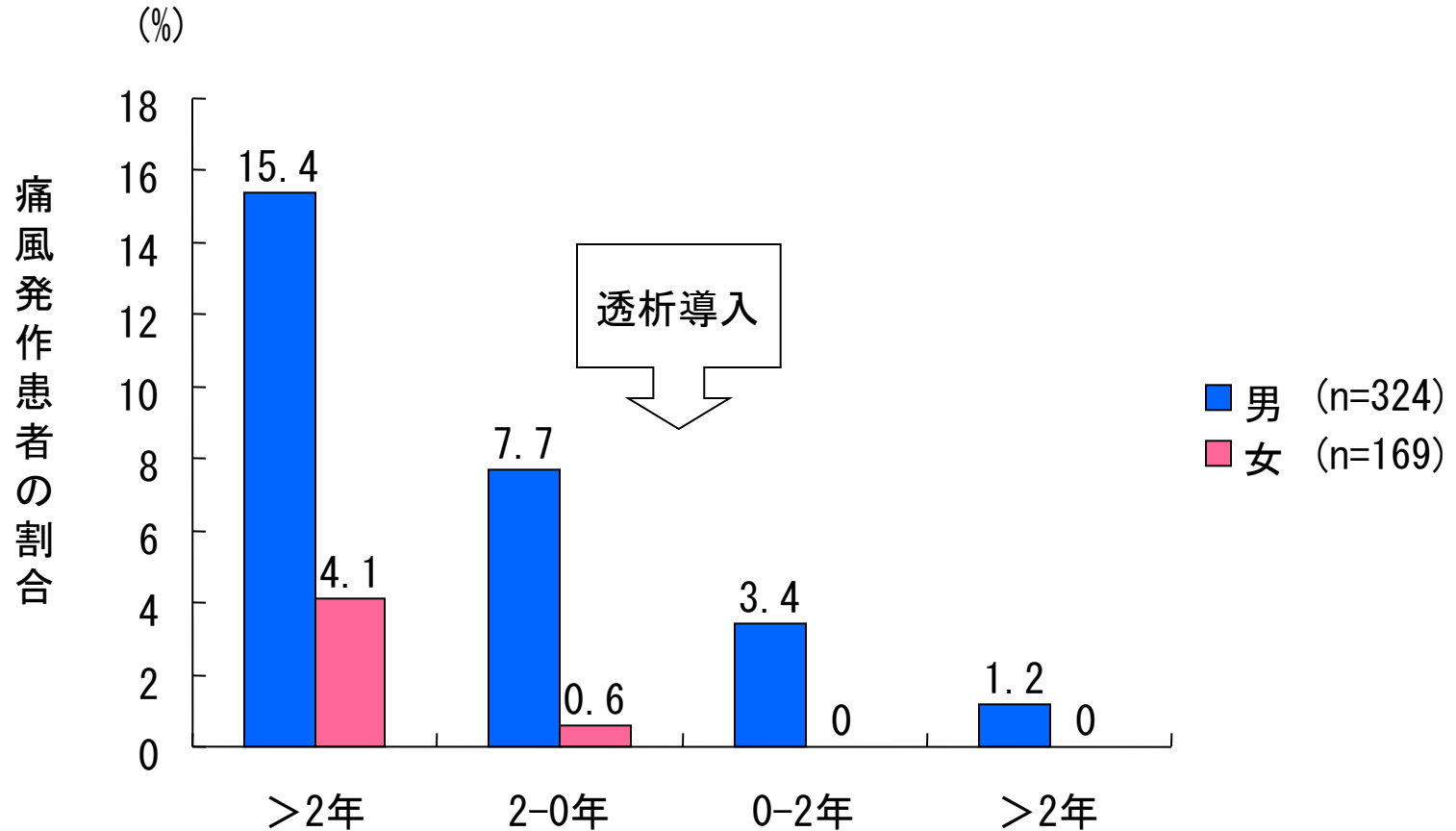
帝京大学医学部内科

# 背景

- 慢性腎臓病では、高尿酸血症が合併している。
- 透析患者の高尿酸血症の治療は確立されていない。
- 透析導入後に痛風発作は減少する。
- しかし、透析導入後も痛風発作が起こることがある。

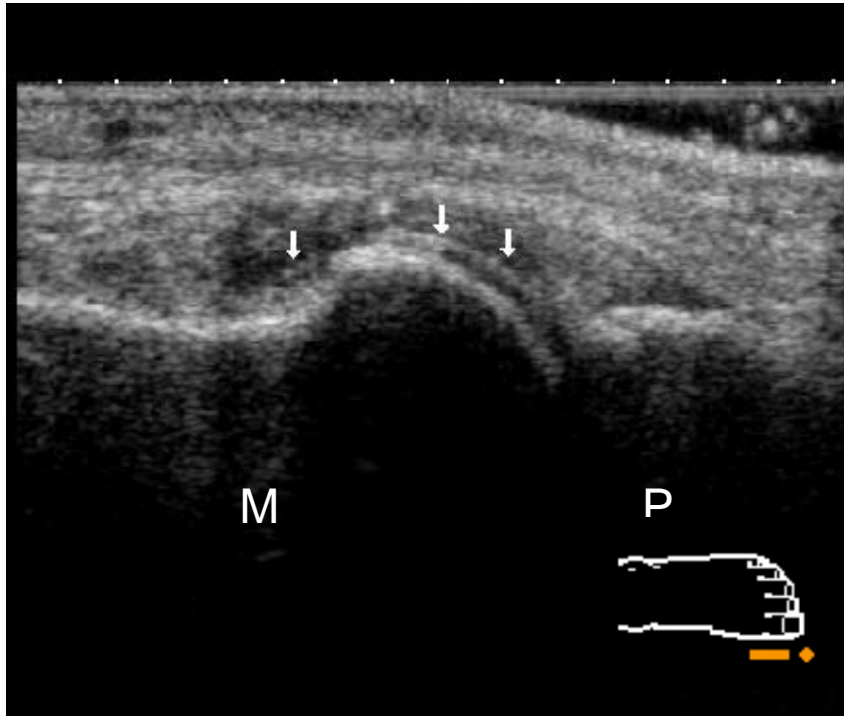
# 末期腎不全 (ESRD) 患者の痛風発作は 透析導入後に減少する

(Ohno I et al : Intern Med 44:706, 2005)



# 関節エコー一見

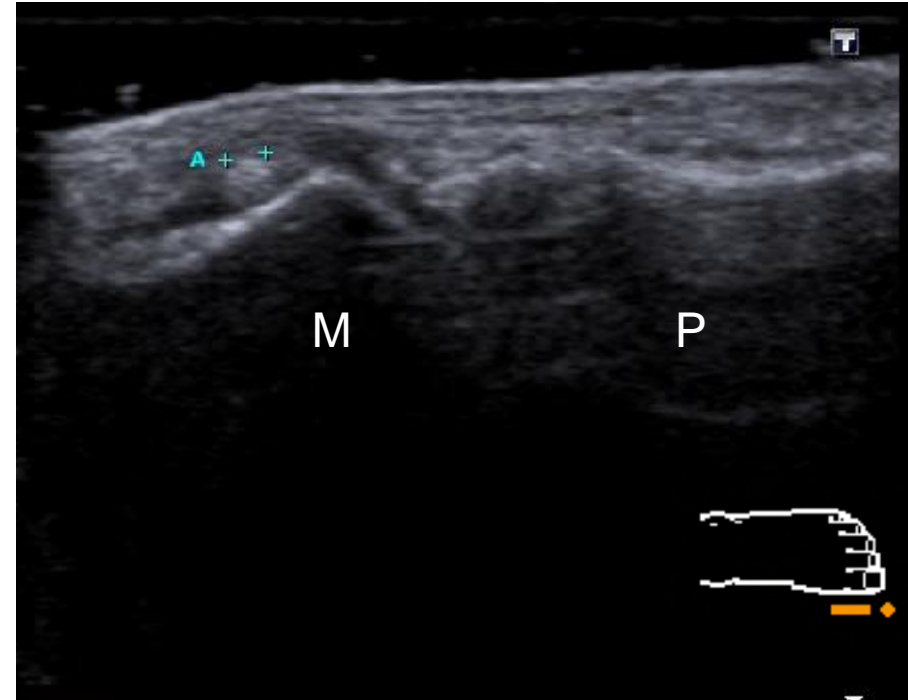
## Double contour sign (DCS)



中足骨軟骨表面にやや厚みのある不均一な線状高エコー像を認める(矢印)。

M: 中足骨、P: 基節骨

## 微小痛風結節



関節包内に円形の高エコー像を認める(マーク)。M: 中足骨、P: 基節骨

# 透析導入前に痛風発作歴を有する患者16例の関節エコー所見

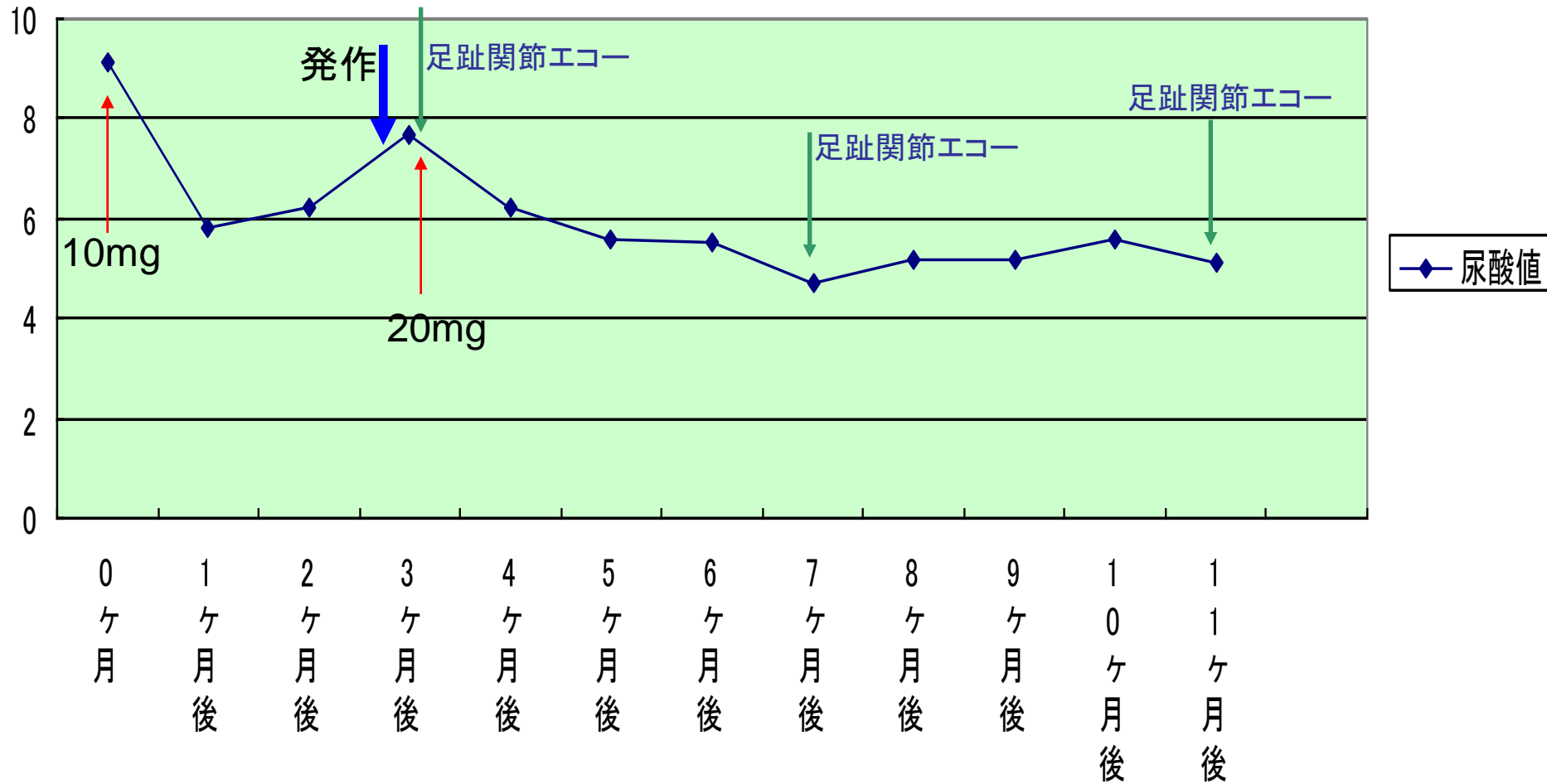
	透析歴	年齢	HD後発作	DCS	微小結節	尿酸値	降下薬
1	3ヶ月	48.8	+	-	+	9.7	+
2	4ヶ月	65.5	-	-	+	8.3	-
3	1年6ヶ月	68.3	-	+	+	8.8	-
4	1年8ヶ月	64.7	+	+	-	10.5	+
5	1年10ヶ月	68.9	-	-	-	8.4	-
6	2年	51.9	-	-	-	8.5	-
7	2年11ヶ月	74.5	+	+	-	9.1	+
8	2年11ヶ月	70.1	-	+	-	8.6	-
9	4年11ヶ月	68.4	-	-	-	7.9	+
10	6年11ヶ月	68.5	-	-	-	8.5	-
11	7年4ヶ月	75.1	-	-	-	7.6	-
12	9年7ヶ月	54.9	-	-	+	6.5	+
13	9年10ヶ月	64.7	-	+	+	8.7	+
14	14年6ヶ月	54.9	-	-	+	10.5	+
15	15年9ヶ月	45.1	+	+	-	7.3	-
16	31年7ヶ月	68.4	-	-	+	7.8	-

# 症例1

- 男性 70代
- 透析歴 3年 6ヶ月
- 原疾患 痛風
- 導入前の尿酸降下剤 服用なし
- 導入後の尿酸降下剤 アロプリノール

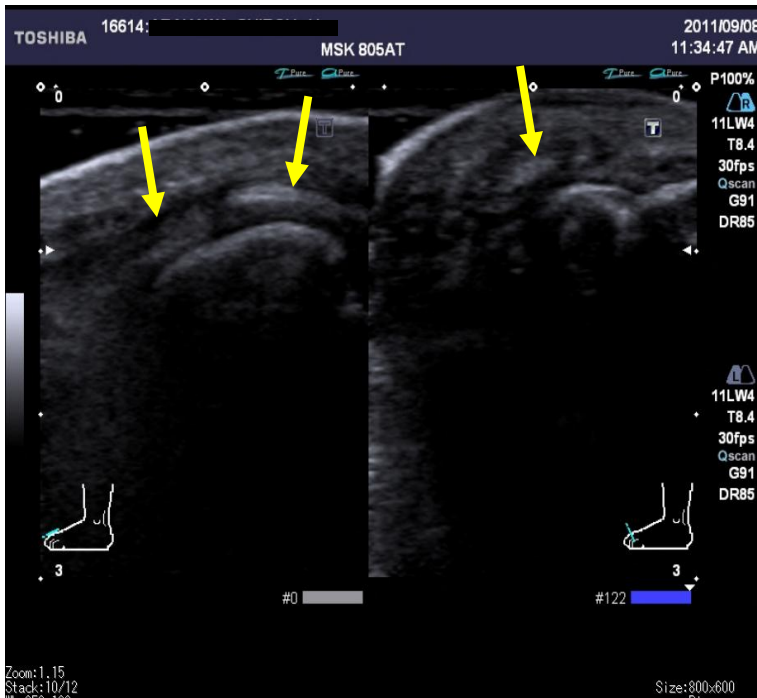
# 症例1の経過

mg/dl

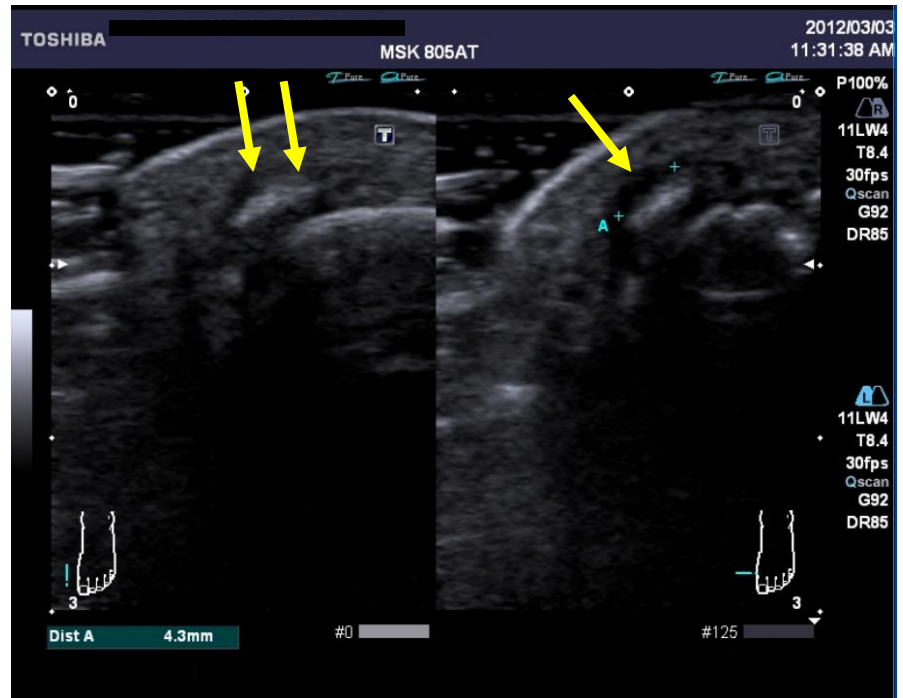


# 症例1

2011.9.8



2012.3.3



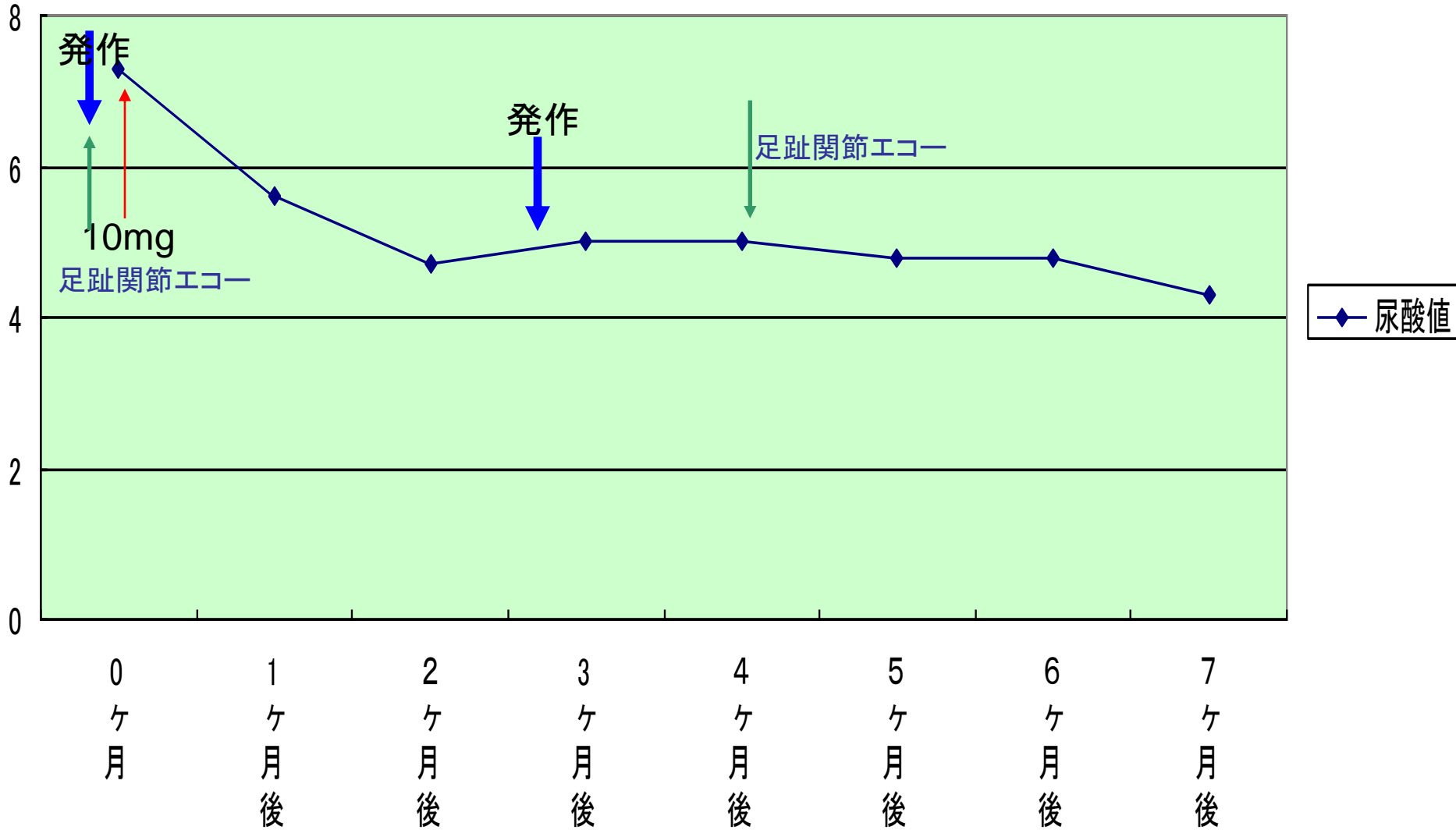


# 症例2

- 男性 40代
- 透析歴 16年 1ヶ月
- 原疾患 低形成腎
- 導入前の尿酸降下剤 不明
- 導入後、長年にわたりアロプリノール服用

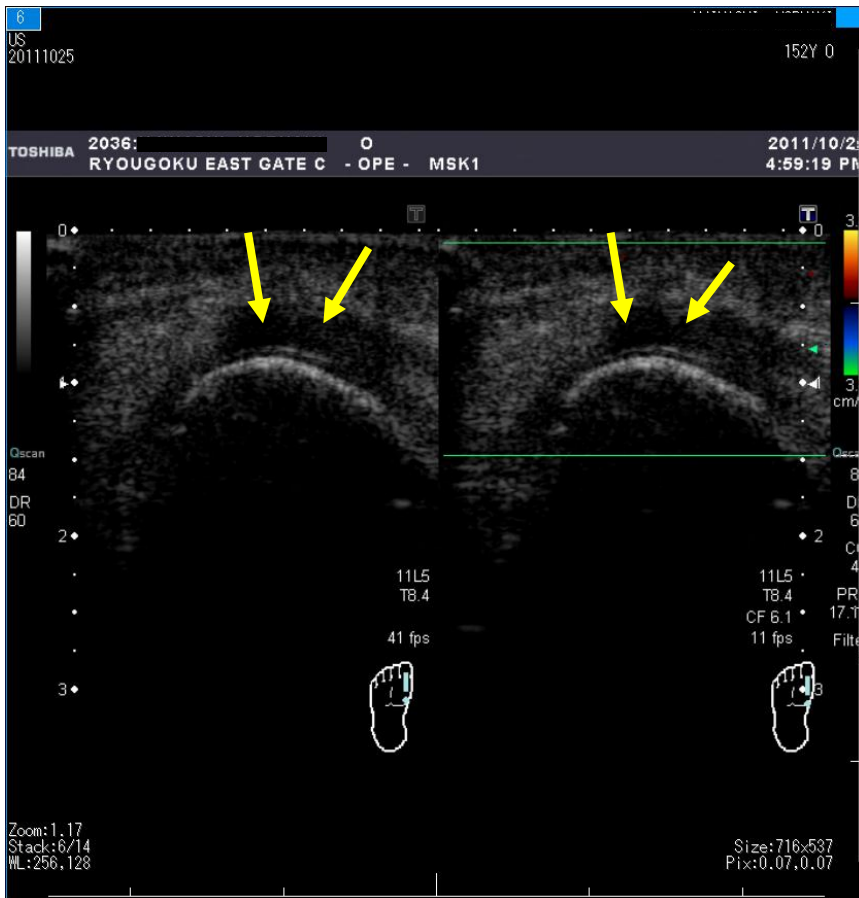
# 症例2の経過

mg/dl

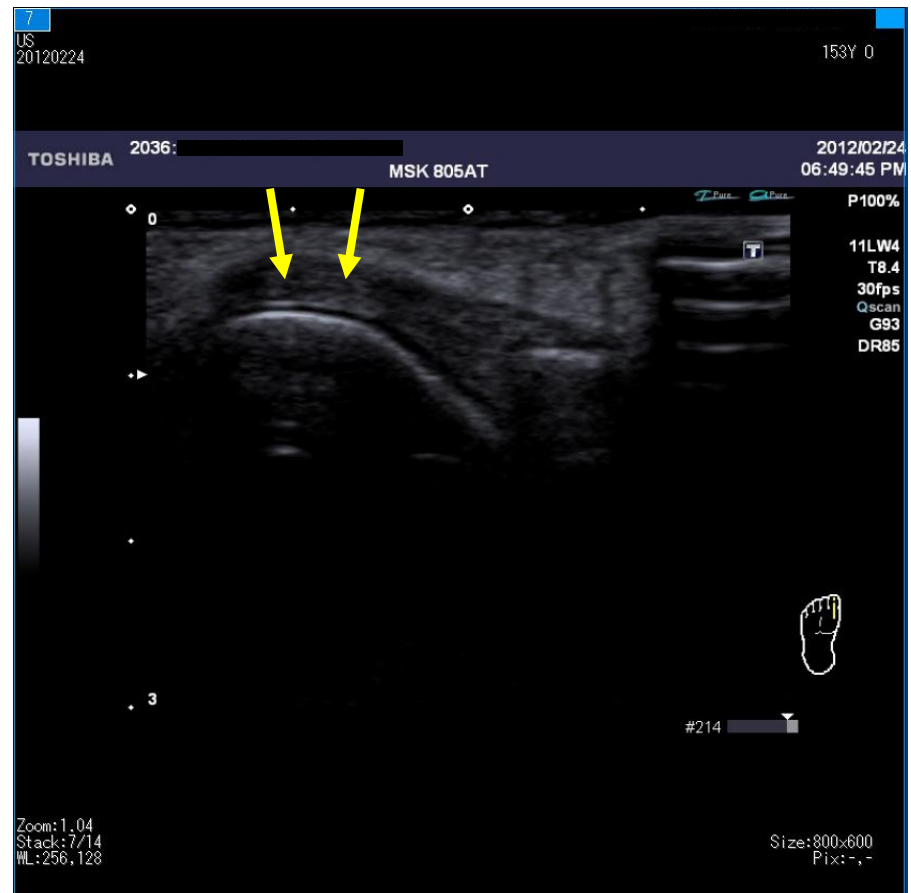


# 症例2

2011. 10. 25



2012. 2. 24

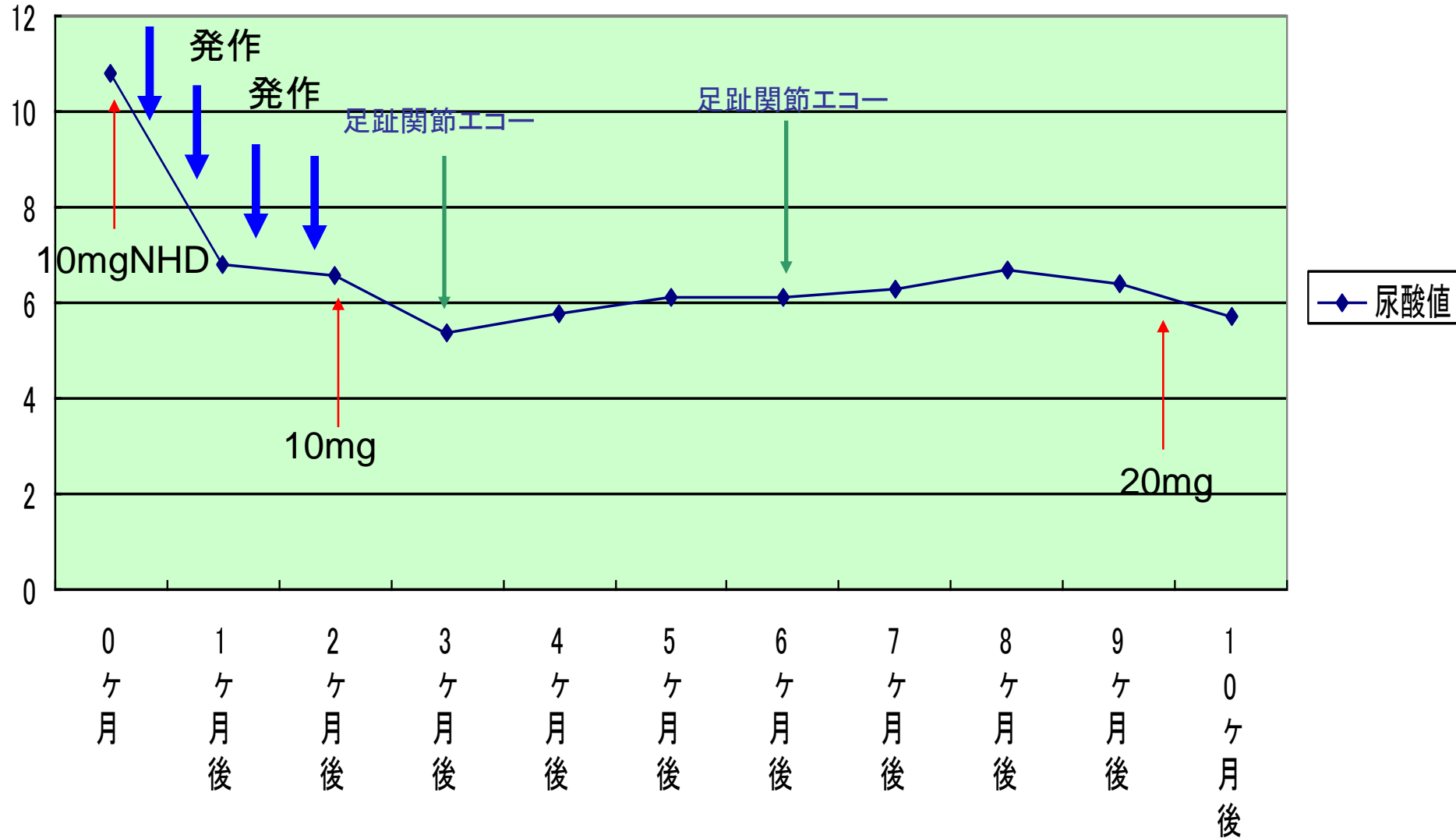


# 症例3

- 女性 40代
- 透析歴 10ヶ月
- 原疾患 pseudo-Bartter症候群
- 導入前の尿酸降下剤 アロプリノール
- 導入後の尿酸降下剤 アロプリノール

# 症例3の経過

mg/dl

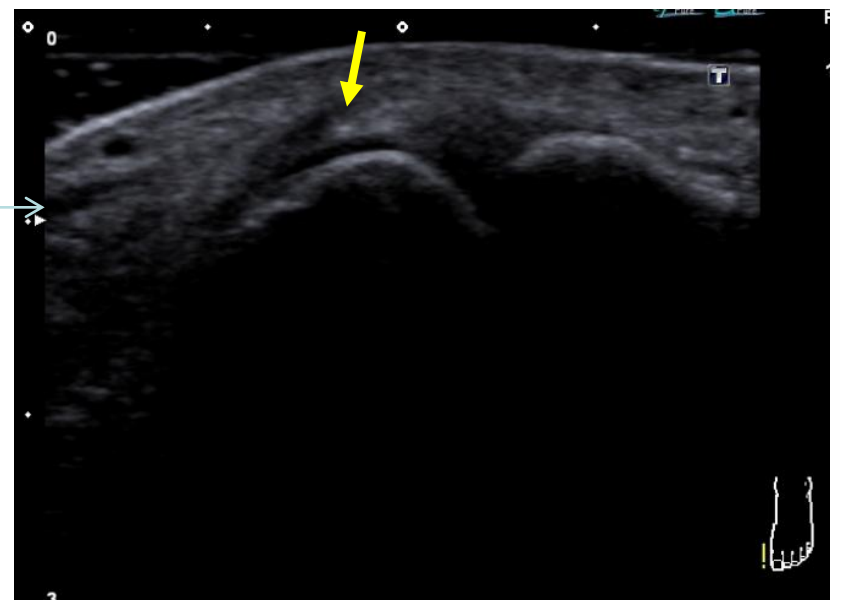
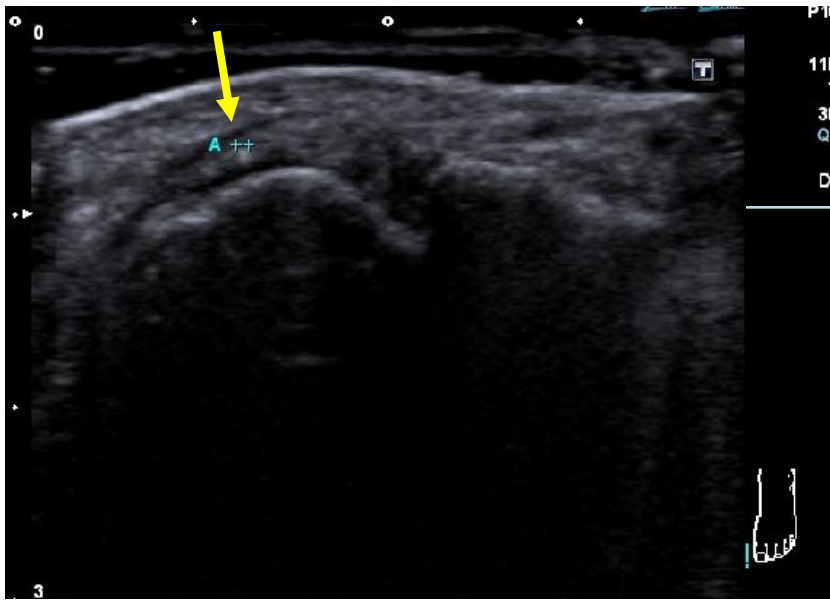


# 病例3

2012. 1. 14



2012. 6. 16

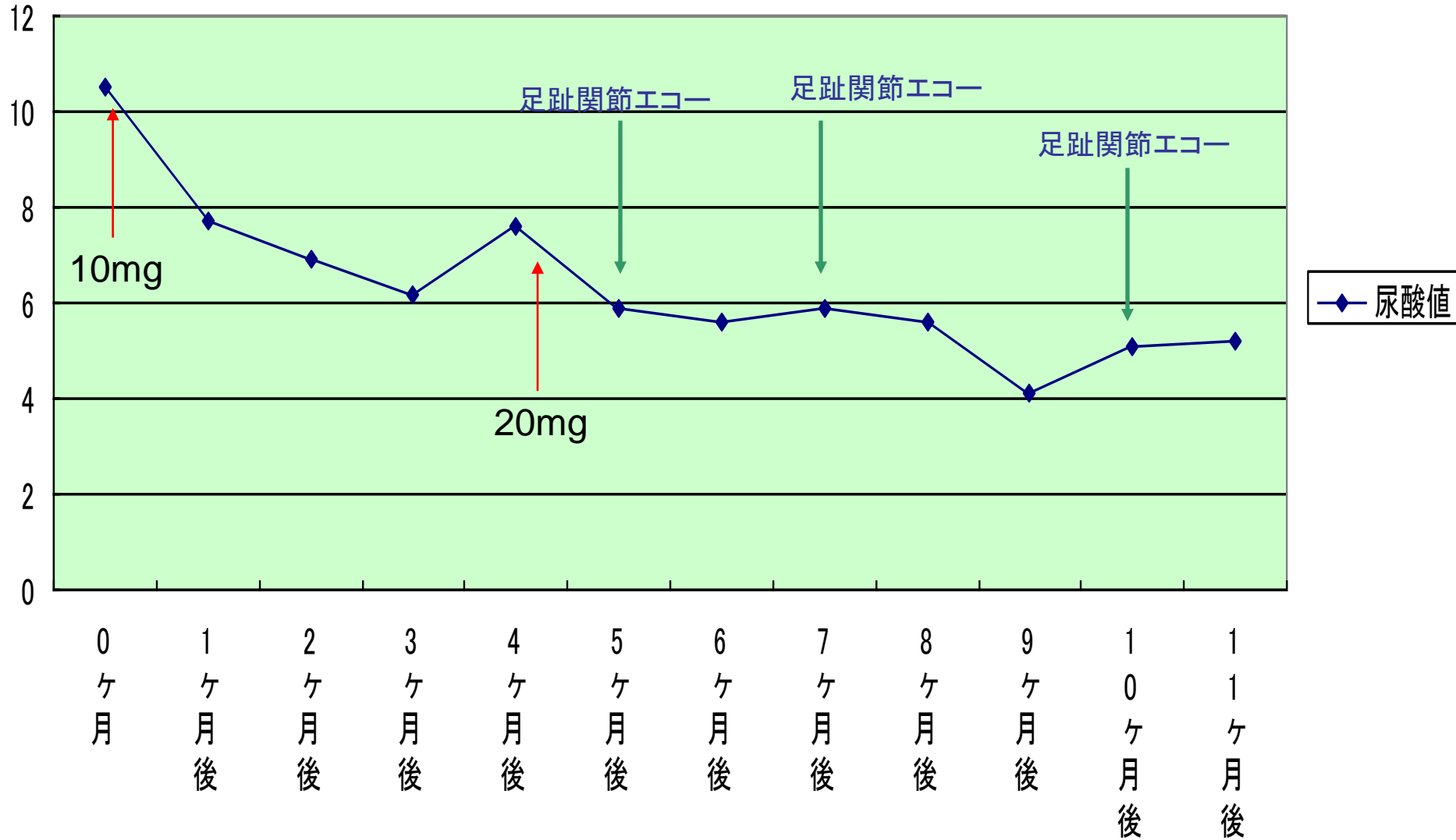


# 症例4

- 男性 60代
- 透析歴 2年 3ヶ月
- 原疾患 痛風
- 導入前の尿酸降下剤 ベンズブロマロン  
(アロプリノールで薬疹)
- 導入後の尿酸降下剤 ベンズブロマロン

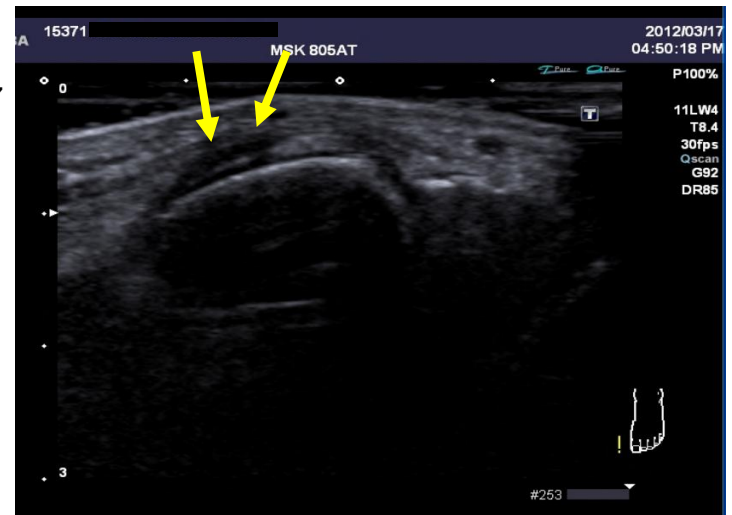
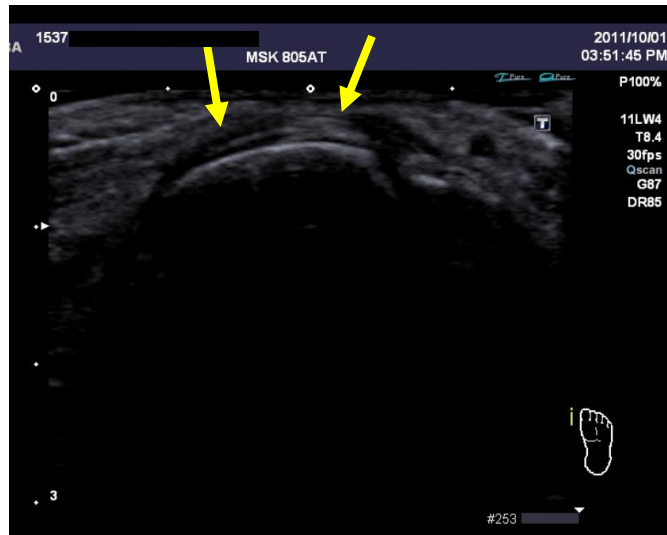
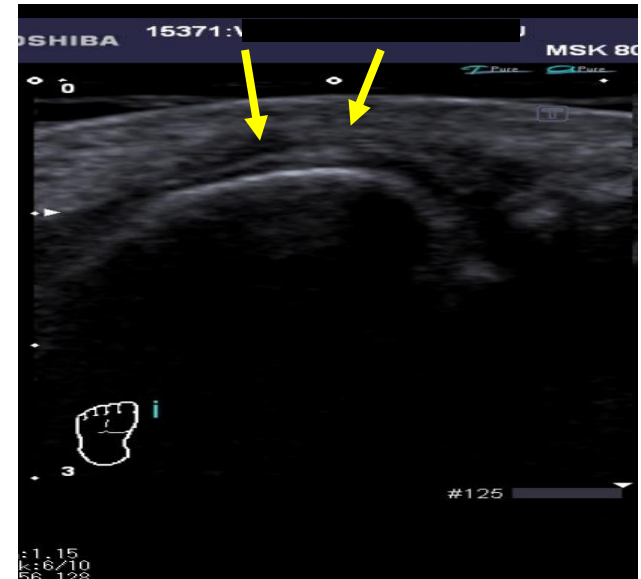
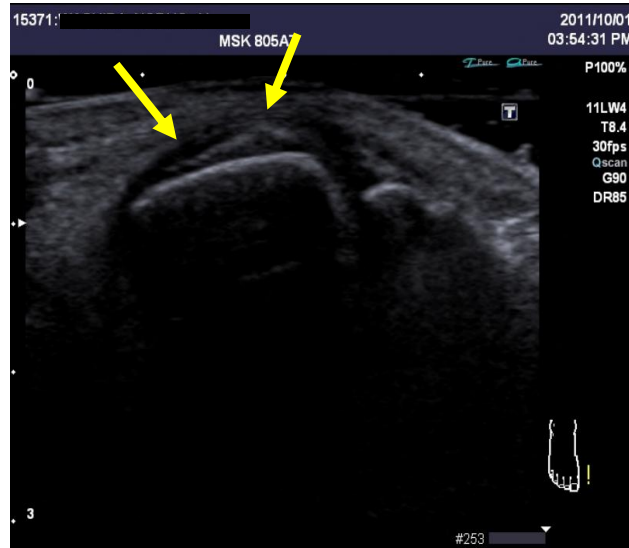
# 症例4の経過

mg/dl





# 症例4



# 結果

- フェブキソスタット10-20mg投与で良好な尿酸コントロールが得られた。
- フェブキソスタット投与初期には痛風発作が見られたが、3ヶ月以降は痛風発作は起こらなくなった。
- フェブキソスタット投与によって有害事象は見られなかった。

# 考察

末期腎不全ではサイトカイン産生の低下に加え、透析導入後は血清尿酸値低下により尿酸プールが減少するため痛風発作を起こすことが少なくなると考えられている

しかし透析導入後も痛風発作を繰り返す症例も散見され、関節超音波検査にて尿酸塩結晶の沈着が疑われる

関節超音波検査は、透析患者の高尿酸血症に対し治療の必要性を検討する指標になる可能性がある。アロプリノールでは十分な尿酸降下作用を得ることが困難であるが、フェブキソスタットにより良好な尿酸コントロールが可能と考えられる